

O.D.C. NewsLetter

O.D.C.オオタニデンタルクリニックからのお知らせ

T.M.J.session第2回講演会 成功裏に終幕する

さる5月28日に、大谷院長主宰の勉強会T.M.J.sessionによる「顎位を再考する -中心位ベースのインプラント治療-」と題した講演会が開催され、数多くの歯科医師が参加し会場は満席となりました。参加人数が想定を大幅に上回り、急きょ増席にて対応するなど、このテーマへの関心の強さをうかがわせ、会場は終始熱気に包まれていました。

歯科治療においては本来、顎位（噛み合わせ）への考慮がきわめて重要です。そこで今回は、福岡大学医学部歯科口腔外科学教授の喜久田利弘先生と北海道大学歯科放射線学教授の箕輪和行先生を特別講師にお迎えし、CTやMRIの画像をどのように読み取るかや、骨格・顎位の診断方法についてご講演いただきました。この分野をリードする大学教授の講演に満員の聴衆は大いに魅了され、しきりにメモを取りうなずく姿が見られました。

また、T.M.J.講師陣である古谷先生、鷹木先生、そして大谷院長も、顎位をしっかりと診ることで、難症例が改善すること、インプラントの治療結果がいつまでも良好に維持されていることなどを、具体的な症例をまじえながら講演され、参加された先生方から大きな反響をいただいております。（文：田村陽一）



顎位を再考する
中心位ベースのインプラント治療

前回は満席にて多くの先生方に迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。今回はT.M.J.session コース受講の先生、またご紹介の先生のみのご参加とさせていただきます。

口腔内に欠損を有する多くの患者に顎位の問題が存在する。欠損補綴の主流であるインプラント治療において顎位を考慮することは、いまや最重要であると考えられている。近年、長期的に安定する咬合を得るために、中心位を基準とした予知性の高いゴールを設定し、能動的な治療を行う必要性を求められている。中心位とは？その意義とは？「前歯、単発の診断の方法は？」「顎関節の診断とは？」「CT/MRIの読影方法とは？」「管理難症例 LeFortSSRDとは？」等、中心位ベースの治療に必要な知識を今ここで再考しませんか？

◆特別講師
福岡大学医学部歯科口腔外科学教授
●喜久田利弘先生 骨格、顎位の診断！

1)「顎変形症治療における顎位の決定方法とその実例」
2)「歯牙インプラント治療における顎位と咬合」

◆特別講師
北海道大学歯科放射線学教授
顎関節の診断！ ●箕輪和行先生

7関節の画像診断CT、MRIの画像読影方法

◆特別講師
顎関節、顔面のデジタル診断！

◆特別講師
顎位、顎関節のデジタル診断
顎変形症治療の最新手法、手術
管理難症例 Le Fort SSRD とは？等
難症例の診断！

0.15周年記念大会
T.M.J.session上座



(上左) 左より鷹木先生、古谷先生、箕輪教授、喜久田教授、大谷院長
(上中右) T.M.J.session講演会場の様子

(下中右) 講演会前日の夜は、特別講師の喜久田教授、箕輪教授とともに、診療に関する情報交換とディスカッションが夜遅くまで行われた。

(下左) 講演会案内リーフレット

日時 2017年 5月28日(日)
9:00~17:00(8:30受付開始)